

専門を活かす～たとえば、化学者×園芸家なら～

【開催日】2024 年 6 月 28 日（金）12：15～13：15（オンライン開催）

【講師】高木 阿久斗 先生（株式会社プランテリア 代表取締役） 博士：工学

今回は、2018 年 3 月に同志社大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士後期課程を修了後、同年 4 月に総合園芸会社株式会社プランテリアに入社され、現在は、同社の代表取締役及び奈良先端科学技術大学院大学特任助教（先端科学技術研究科物質創成科学領域）として、会社経営と研究に取り組んでおられる高木阿久斗先生にご講演を頂きました。

1. 自己紹介

皆様、こんにちは。本日は、「専門を活かす～たとえば、化学者×園芸家なら～」というテーマで講演をさせていただきます。私は、同志社中学校、高校を経て、同志社大学理工学部機能分子・生命科学科に入学しました。そして、大学で化学を学んだことで、学問に対する興味が湧き、博士前期課程、後期課程に進みました。ただ、自分の考え方が偏らないようにしたいという思いもあり、副専攻では、グローバル・リソースマネジメント（GRM）を履修し、多文化共生やインフラについても学びました。そして、2018 年 3 月に工学の博士学位を取得しました。大学院を修了した後は、企業や研究機関に入りたいとも考えたのですが、父が経営していた総合園芸会社に 4 月から入社し、同年の 10 月末に代表取締役に就任しました。これにより、父と二人で会社を代表する形になりました。高校の時から、造園の手伝いの経験もあったため、1 級造園施工管理技士の資格も取りました。その後、2023 年 4 月から本学の特定業務職員（実験実習支援要員）に、同年 6 月から奈良先端科学技術大学院大学の特任助教に着任しました。奈良先端科学技術大学院大学は、生駒市にある国立大学ですが、バイオに関する研究が盛んに行われています。私が植物を扱う会社の代表であることに加え、光化学についても勉強をしてきたことから、バイオ系の先生からお声がけを頂きました。このように会社と大学の双方に携わっていることから、1 週間のスケジュールはどうなっているのかと思われるかもしれませんが、実際に、一部では重複している部分もありますが、月曜日から水曜日は会社がメインで、木曜日と金曜日は同志社大学で働き、実験を教えたりしています。また、自分で会社を経営しているので、土曜日と日曜日もし仕事をしたり、大学での実験について考えたりしています。

2. 本業＋副業のメリットとデメリット

次に、本業＋副業のメリットとデメリットですが、アディーレ法律事務所 苫小牧支店の HP（<https://tomakomai.adire.jp/column/621/>）に記載してある「副業のメリット・デメリットや注意点について解説！」を基にお話したいと思います。まず、メリットとして、「仕事を増やすことにより収入を増やすことができる」というのが挙げられておりますが、これに関しては、あまり実感はありません。これをメリットと感じていないというか、メリットととらえるのであれば、あまりお勧めはしません。次に「本業では得られない知識や経験を得ることができ、スキルアップ・キャリアアップにつながる」という点ですが、これはそうかなと思います。色々なことを組合せることで、新しい自分になることができるような気がします。また、「収入額を気にせず「やりたいこと」に挑戦できるため、自己実現の追及や幸福感の向上につながる」という点については、自分にもあてはまります。本当にやりたいことをやれる人生であれば良いかと常々考えています。さらに、「本業での収入を得ながら、転職や起業等の準備を余裕をもって進めることができる」という点は、これはスキルアップやキャリアアップにも関連しますが、1 つのことだけではなく複数をやることで、モチベーションも上がってきます。そのため、自分で何か新しいことをしたいと思った時には、一歩を踏み出せるのではないのでしょうか。

次にデメリットですが、「本業と副業をこなすため、労働時間が長くなり、過重労働となる可能性がある」という点では、確かに労働時間は長くなっています。自分の好きなことに携わる時間が増えているのであれば、心はそれほど負担に感じないのではないかと思います。働き過ぎて健康を害するようなことがないように気を付け

る必要があります。また、「十分な休息を取れないことで生産性が落ちる可能性がある」という点ですが、これは確かにそうで、私自身も頭の中がいっぱいになって、生産性が落ちていると感じる時があります。ただ、進めていくうちに自分なりに調整していけば、そうならなくなります。

3. 自身の仕事について

ここからは、自分の仕事についてご紹介したいと思います。まず、園芸会社の仕事ですが、花や観葉植物の苗、切り花等を市場で仕入れて店舗で販売するという業務があります。セリで落したり、生産者の方から直接仕入れたりして、お店に商品を並べています。また、園芸店以外にも、造園工事もやっています。少し前になりますが、高槻市には、JRと阪急の駅の間に大きな公園が完成しました。ここの植栽工事も行いましたし、高槻市の文化施設の工事も担当しました。これらは公共事業のため、色々な業者が参加する入札が行われるのですが、「この仕事であれば、この価格だろう」ということを予想する積算能力が必要になります。そして、見積もり金額を入れて、ぴったりと積算できている会社の中から、クジで選び、仕事が割り振られるということになります。また、社内では、従業員のことや働き方について考えていますが、社外では、地域の商工会や観光協会、造園組合、銀行等とのやり取りを常に行っているような感じです。対外的なコミュニケーションの場が多いことから、スマホでメールを打ったり、電話をしたりする時間が長いです。

次に大学教員としての仕事ですが、主に同志社大学の学生の実験指導がメインになります。私の出身の研究室は、ナノテクノロジーやバイオテクノロジーに関する研究に取り組んでおり、研究室に所属している学生の実験の手伝いや論文の書き方の指導に加え、同志社大学と奈良先端科学技術大学院大学の共同研究にも携わっています。より具体的にお話しますと、自身の専門は有機化学で、主に色素材料を扱っており、有機半導体の材料として使用されるような化合物の合成や合成したものの測定をしています。学生の実験と並行して自分の実験を行ったりすることもあります。また、奈良先端科学技術大学院大学については、本当に偶然なのですが、私が植物関係の会社を営んでいることと、色素や光化学を専門としているということでお誘いを頂き、光る植物の開発に取り組もうとしています。植物を光らせることで、人が見て楽しい植物であったり、街灯ほどは強くない光で街を照らすことで電力消費を削減したりというアイデアを考えています。具体的に説明しますと、光るキノコがあるのですが、このキノコの中から遺伝子を取り出し、植物に入れることで、発光が可能になります。さらに今回の技術では、タンパク質の構造を変えることにより、発光色を変えられるという特徴もあります。既に、ゼニゴケ、シクラメンやペチュニアのような観葉目的の植物の花を発光させることに成功しています。また、植物を用いた実験では指標として用いられるタバコ、樹木であるポプラの木を発光させることも可能になりました。大学の教員で立ち上げた事業のため、どのように社会へ展開するかについて、事業計画等についても一緒に考えていきたいです。このような機会に逢うことは、これまで全く予想しておらず、植物が発光することも知りませんでした。本当に偶然なのですが、色々なことに取り組んでいると思ひもしないところでチャンスがあると気付きました。

4. 思うこと・伝えたいこと

私は、現在の社会は暫定的なものと思っています。このようにAIが広く普及するとは誰も思っていなかったでしょうし、これが発展することで無くなる仕事もあれば、新たに生み出される仕事もあります。ただ、色々なことに取り組めば取り組むほど、色々な変化にも上手に対応できるのではないかと考えています。そして、これらについては、無理なくやることも大事です。前にも述べましたが、頑張り過ぎて体を壊してしまうと元も子もないので、頑張ることは重要ですが、無理のない範囲が良いかもしれません。本日の参加者の多くは、学生の方々かと思いますが、今は時間がある時ですので、自分の専攻だけではなく、興味のあることについても積極的に学ばれた方が良いでしょう。

※ ご講演の後、参加した学生との間で質疑応答も行われましたが、内容については、省略します。

【文責：高等研究教育院 加治木紳哉】

オンライン開催

事前申し込みが必要です

2024年度 第1回「博士キャリアカフェ」 6月28日(金)12:15～

専門を活かす～たとえば、化学者×園芸家なら～

本学では、キャリアパス支援の一環として、アカデミア、企業、官公庁等を問わず様々な分野の博士学位取得者の方から、ご自身の経験や現在の状況について伺う「博士キャリアカフェ」を定期的に開催しています。講師の先生と、ざっくばらんに意見交換ができる貴重な機会となりますので、奮ってご参加ください。
なお、参加をご希望の方は、事前にお申し込み下さい。

【講師】

高木 阿久斗 先生 博士:工学
株式会社プランテリア 代表取締役

【プロフィール】

2018年3月、同志社大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了。
同年4月、(株)プランテリア(総合園芸会社)に入社。10月、代表取締役に就任。
2023年4月、同志社大学特定業務職員(実験支援)、同年5月、奈良先端科学技術大学院大学特任助教(先端科学技術研究科物質創成科学領域)に着任。現在は、上記会社の経営と大学での研究に取り組んでいる。

【日時】

2024年6月28日(金)12:15～13:15(ご講演 30分, 懇談 30分)
Zoom によるオンライン開催

【対象】

本学の学生及び教職員

【申し込み方法】

- 本ガイダンスは Zoom によるオンライン開催となりますので、事前申し込み制とさせて頂いております。
- 6月27日(木)15:00までに、右のリンクもしくは QR コードからお申し込み下さい。参加用の URL をお送りいたします。



<https://forms.office.com/r/FqnBDvP2fn>

本件に関するお問合せ先: 研究開発推進機構研究企画課
TEL: 0774-65-8257
Mail: ji-kenkak@mail.doshisha.ac.jp